

隨泉寺寺報

2001 年 6 月号
第 370 号

浄土真宗本願寺派 高峯山隨泉寺

夏期門信徒講座

講師 宗玄寺住職 嘉屋 英嗣師

講題 「いのちのよりどころ」

子を庫裏に あづけたちまち 苗取りに（山上 荷亭）
五月になってから、雨らしい雨も降らず、五月晴れの日が毎日続いてい
ましたが、ようやくひと雨降って田植えが出来たというお家も有ること
でしょう。この頃は田植えが早くて、連休にはもう済ませたという方も有る
ようです。むかしは（といっても2～30年前ですが）遅い時は七月に
入ってから田植えをしたということも聞きました。だんだん早くなってい
るような気がします。世の中がそれだけ忙しくなってきたのでしょうか。
山上 荷亭は滋賀県の田舎の住職です。おそらく田んぼも作っていたので
しょう。子供を誰かにあづけて苗代の苗を取りに行く、昔はお寺も田んぼ
を作っていました。私の実家も作っていました。田植えの時は学校を休ん
で手伝った記憶があります。とった苗を所どころに投げるのです。それが
面白くて泥だらけになりながら、兄と競って手伝った覚えがあります。こ
の頃中野もだんだん田んぼが少なくなってきました。そのうちお米が田ん
ぼで作られるということも、わからなくなる時代が、来るのかも知れない
なアと寂しい気がします。

6月の法座予定

6月14日昼席午後1時より……門信徒講座
6月14日夜席午後8時より……出張法座 東長者原（幸村 賢氏宅）
6月15日朝席午前10時より……門信徒講座
6月15日昼席午後1時より……門信徒講座

お知らせ

5月15日降誕会法座の朝席後、去年生まれられた子供さんの初参式
を執り行いました。新聞を発行できなかったのも、全部の方まで連絡が
届かなかったのか、参加者は5名でした。御勤めの後、お母さんと一緒
に焼香され、一人一人に住職から記念の念珠をお渡ししました。どうか
元気に仏の子供としてすくすくと 育っていただきたいものです。

本堂の建具が新しくなりました。今まで正面と横の障子の建具が隙
間が有って、2月の法座の時に寒くて座っていられないなどの問題が
有ったので、新しいサッシの建具に替えました。今度は開け閉めは簡単
ですし、綺麗です。見違えるばかりに成ました。同時に境内のトイレも
新しいのを 建ててもらいました。古いトイレは汲み取りだったので、下
水が通ると使用出来ないのも 撤去していました。もう少し小さい物を考
えていましたが、どうせ造るなら物置も欲しいということで、大きくな
りました。その他新しい玄関と庫裏の玄関の間が屋根が切れて そこから
雨が吹きこんでいたので、それも繋いで頂きました。少しずつ綺麗に
成っていますのでぜひとも見に来て下さい。

お知らせ

庭のともし火を見てお茶を楽しむ会 灯茶会

6月21日 木 午後8時より（雨天順延）
京都の研修旅行の時、妙心寺の塔頭の東林院というお寺に行きました。
夜間拝観が出来ると言うことだからです。庭に沢山のともし火が有るだ
けでしたが、幻想的でとても素晴らしいものでした。これなら隨泉寺で
も出来るぞということで、お裾分けで皆さんにも少しだけ雰囲気を見て
もらおうということで企画しました。静かにともし火を見て、お茶
を飲むということだけですが、少しゆっくりとした時間を持って
みませんか。

夏の一泊研修会（7月23～24日）・一日研修会（7月24日）

小学4年生～6年生まで と小学1年～3年

今年も夏の一泊研修会と一日研修会を行います。2年間本堂工事のため
お休みしていたのですが、本堂も綺麗になったので再開します。友達
と誘い合わせて参加して下さい。楽しい企画をいろいろ考えています。
参加要綱を後日配布します。

京都御本山・大谷本廟・顕証寺参拝旅行

5月9日～11日まで京都・滋賀・大阪に研修旅行に行ってきました。参加者は住職・坊守を含めて36名でした。バス旅行ではちょうど良いぐらいの参加者でした。天候にも恵まれて、暑からず寒からず、申し分のない旅行日和でした。

一日目 5月9日

朝午前8時芸陽バス車庫に集合してみんな元気に出発。途中休憩しながら山陽道・中国道を経由して、一路京都に。12時半京都到着、ハトヤ旅館で昼食後、大谷本廟にお参りしました。第一無量寿堂ですでに納骨しておられる方々のお参りをしたあと、第二無量寿堂に新しい方の納骨に参りました。平日ということでお参りの方も少なく、ゆっくりとみんなでお勤めをして納骨致しました。第一無量寿堂では、懐かしい人のお骨も有り、有り難い時間でした。そのあとせっかくだから清水寺に観光しました。修学旅行の学生が多くてさすがは京都だなと驚きました。それから本願寺門徒会館に投宿。夕食後聞法会館で一時間ご法話の御縁に遇いました。



二日目 5月10日



朝6時ご本山でお勤めの後、御所を訪ねました。さすが御所は手入れが行き届いており、松の見事さにはびっくりしました。普段は入れない所なのですが、申請書を出していたので、ゆっくり拝観できました。それから滋賀県の大津の近松別院にお参り致しました。近松別院は蓮如上人が建てられ、子供さんの蓮淳さまが初代の住職です。戦争中建物疎開で壊され、今は小さい本堂ですが、由緒有る名刹です。そのあと石山寺、そして三井寺それから予定にもなかった比叡山に上りました。途中野生のおサルさんに出会い、ビックリしました。動物注意の看板はあるものの、かわいいサルを見たのはじめてです。その上5月にもなるのに桜まで見ることができました。多分今年は特別なのでしょう。



お天気にも恵まれ少々疲れはしたものの、皆さん元気で夜の観光までたのしみました。妙心寺の塔頭のひとつで、東林院というお寺で夜間拝観をしているというので、みんなで出かけました。庭に蠟燭の灯火が沢山照らしてあり、とても幻想的で素晴らしいものでした。水琴窟もあり魅惑的な音色にうっとりしました。

三日目 5月11日

お朝事にお参りした後13人の方が帰敬式(おかみそり)を受けられました。総御堂のご本尊のまえで厳粛な式でした。随泉寺で受けられたのも有り難いものでしたが、本山で受ける帰敬式も、尊いものです。その後朝食を頂いて、本願寺の書院や能舞台を拝観しました。飛雲閣は時間がなくて、残念ながら見る事が出来ませんでした。



本願寺は今、御影堂が260年ぶりの大修復の最中です。御影堂全体を大きな素屋根がすっぽりとおおっていて、すごい工事が始まっています。記念に随泉寺で屋根瓦を寄付して帰りました。瓦も随泉寺の瓦の倍くらいあるような大きな物でした。これから本願寺の屋根の一部を支えてくれるものと思います。



その後、一路大阪八尾の顕証寺を訪ねました。顕証寺は蓮如上人がお建てになったお寺です。ちょうど河内蓮如忌という御法要をお勤めになっていたため、住職も一緒に出勤させてもらいました。顕証寺のご住職は、随泉寺の住職継職法要に導師としてお勤め頂いた近松照俊師です。住職が本願寺で奉職していた時の先輩で可愛がってくださった方なので特に懇意にして頂いています。

沢山のお参りで大きな本堂がいっぱいでした。お勤めも随泉寺の時の法要と同じく、大散華といって蓮の花びらのような華葩を5万枚も撒くという賑々しいものです。一同大変感動されて、お参りをしました。その後、全員無事に広島に返ってきました。たいへん有意義な楽しい研修旅行でした。